

## 特集 鉄道経営と政府の役割

### 鉄道民営化の教訓

ビル・ブラッドショウ

オックスフォード大学  
ウルフソン・カレッジ評議員

旧英国国鉄とバス事業の豊富な経験をもつ傑出した学究が、英国の鉄道民営化について三つの疑問を提起し議論する。民営化は本当に必要だったのか？民営化を通じて明らかになったことは何か？民営化の苦い経験を経た現在、将来のために何がなされるべきなのか？英国の鉄道改革は、鉄道の発展のために必要な投資を確保することに失敗した。鉄道の上下分離を擁護する人々は、英国の経験をかえりみる必要がある。

### 日本における公営および私営都市交通の役割

正司 健一 神戸大学大学院教授

日本では財政的に独立した民間の鉄道事業者が適切な都市交通サービスを提供している。欧州や北米の都市鉄道では、運賃収入が営業経費を下回っている事例が殆どであるが、日本の私鉄は鉄道事業から利益を上げている。このような自立性がいかにして達成されたのが、著者は私鉄各社の多角経営などを例にとって説明し、同時に日本の都市交通における公的部門と民間との役割について明らかにする。

### 鉄道における上下分離

ヴァシリオス・A・プロフィリディス

デモクリタス・  
トラキ大学助教授

現在、ヨーロッパの鉄道のインフラストラクチャー費用は、営業費の30%に達している。莫大な埋没費用を抱えて自前の線路を使って営業する鉄道の財務会計は不透明で、鉄道当局は鉄道事業への自由競争導入については消極的である。ヨーロッパにおける上下分離政策の背景となった諸要因と、EU加盟各国で現に進行中の鉄道改革の簡にして要を得た解説。

### 日本とEUにおける国鉄改革：制度変革の成果を評価する

アンドレア・オバーマウア (財)運輸政策研究機構研究員

1987年の日本の国鉄改革は、他の国に対する手本となったが、改革の目的を異にした欧州と日本との間には、鉄道の制度改革に関して大きな相違点が生じた。これらの差異について説明しながら、著者は通路の開放、運賃設定、競争の促進などの面で何が達成されたかを明らかにする。著者は日本の三島JRにおける上下分離の可能性を示唆し、また欧州でも日本でもすべての輸送機関に対して公平な競争条件を確保するために、モード間の規制を強化することを示唆する。

### 第三者包括物流(サードパーティー・ロジスティクス) 中国鉄道貨物輸送の発展への鍵

國建華 北京大学博士課程修了研究者

中国の物流研究はようやく1980年代はじめに始まったに過ぎない。しかし、20年後の今日、物流は経済発展の中心的な要因になっている。物流の活性化こそが、中国の産業が直面する最重要の問題を解決すると期待されている。これから発展する第三者包括物流の中で、中国の鉄道が果たす役割についての考察。

### 日本の列車に乗って

ヤスアキ・ダニエル・アマノ

マサチューセッツ  
工科大学修士

企業研修で1年間日本に滞在した日系アメリカ人の学生が、自らの経験に基づいて語るユニークな日本鉄道について語り、鉄道を題材にしたテレビゲームや鉄道情報を提供するi-モードのサービスなど、鉄道を取り巻く文化について語る。

### 日本の鉄道事業者3 東北地方

高嶋 修一 東京大学大学院修士課程

日本の鉄道事業者を地域別に紹介する連載の第三回。東北、新潟地方の新幹線、JRの在来線特急、仙台の都市鉄道、地方のJRと民鉄などを紹介する。

### トピックス

2001年5月から2001年7月まで

### 写真特集

1. JR東日本の新しい新幹線総合試験車
2. 東京からのJR在来線特急列車